

# 中学地理プリント（過去問類似）

## アフリカ州

名前

得点

/8

**問1** コートジボワールやガーナといった西アフリカの国々では、かつての植民地支配の影響により、大規模な農園で特定の輸出作物を栽培する「プランテーション」が展開されました。これらの国々が世界的な産地となっている、チョコレートの原料となる作物を選択肢から選びなさい。（2017年 兵庫公立入試 類似）

1. カカオ                                      2. コーヒー豆                                      3. 茶                                      4. 天然ゴム

**問2** コートジボワールの輸出統計において、カカオ豆が輸出額全体の約28%と最も大きな割合を占めているような経済構造について、その名称と課題を説明したのものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 特定の農産物の輸出に依存するモノカルチャー経済であり、天候や国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。                                      2. 工業製品の輸出を主とする加工貿易であり、輸入する原材料の価格高騰によって製品の国際競争力が低下しやすい。                                      3. 国内の消費を自国の生産でまかなう自給自足経済であり、国際社会の経済変動による影響をほとんど受けない。                                      4. 希少な鉱産資源の輸出のみに依存する資源依存型経済であり、資源が枯渇すると将来的に経済が立ち行かなくなる。

**問3** 日本がアフリカ諸国との外交において基本方針としている、アフリカの国々が自らの責任で主体的に国づくりを行うことを尊重する姿勢を、一般的に何と呼びますか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 自助努力（オーナーシップ）                                      2. ブロック経済                                      3. 排他的経済水域                                      4. 単一文化（モノカルチャー）経済

**問4** アフリカ州の人口推移と食料問題に関する統計的な状況を説明した次の文のうち、適切なものはどれですか。なお、アフリカの人口は2010年の約10.7億人から、2030年には約1.6倍の約17.3億人に達すると予測されています。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 2020年時点の栄養不足人口は約2億5520万人であり、総人口に占める割合は約18パーセントと、アジアや中南米よりも高い水準にある。                                      2. 人口増加率は高いものの、食料生産技術の向上により、総人口に占める栄養不足人口の割合は世界で最も低い水準まで改善している。                                      3. 2020年時点の統計では、栄養不足人口の割合は総人口の約8パーセントにとどまっており、アジア諸国と比較して食料問題は深刻ではない。                                      4. 人口増加のペースは緩やかであり、2010年から2030年にかけての人口増加は約1.2倍にとどまるため、食料不足の懸念は解消されつつある。

**問5** ナイジェリアでは原油が輸出総額の約70%以上を占め、ザンビアでは銅が輸出総額の約70%以上を占めるなど、特定の鉱産資源や農産物の輸出に依存しており、欧米諸国と比較して国内総生産（GDP）が低い水準にある経済構造を何といいますか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済                                      2. 加工貿易                                      3. 知識集約型経済                                      4. 自由貿易体制

**問6** サハラ砂漠の南側に位置する半乾燥地帯のサヘルでは、近年、砂漠化が急速に進行し、食糧不足などの深刻な問題が生じています。この地域で砂漠化が進んでいる主な背景として、自然要因以外で最も適切な説明はどれですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

1. 人口増加に伴う過放牧や、燃料にするための樹木の過度な伐採が行われたため。                                      2. 熱帯雨林の急速な拡大により、土地の栄養分が奪われ土壌が劣化したため。                                      3. 大規模な灌漑施設の建設により地中の塩分が地表に集まり、塩害が発生したため。                                      4. 工業化による酸性雨の影響で、乾燥帯特有の植生が枯死してしまったため。

**問7** かつてオスマン帝国の支配を受け、その後のイギリスによる支配を経て1922年に独立を果たした、北アフリカに位置する国について述べた文として正しいものはどれですか。この国は、地中海と紅海を結ぶ国際的な海上交通の要所を国有化した歴史を持ち、近年ではエネルギー資源の開発によって経済成長を遂げています。（2017年 東京都公立入試 類似）

1. 1950年代にスエズ運河の国有化を宣言し、近年は石油や天然ガスの産出が経済を支えている。                                      2. かつてフランス領インドシナと呼ばれた地域であり、現在はドイモイ政策によって工業化が進んでいる。                                      3. ムガル帝国の滅亡後にイギリスの植民地となった歴史を持ち、現在は情報技術（IT）産業が発展している。                                      4. 古代アステカ文明の遺跡の上に首都が築かれており、北米自由貿易協定への参加を経て工業が発展した。

**問8** アフリカ州の国境線の特徴と、その成立過程に関する記述として正しいものを選びなさい。（2020年 佐賀公立入試 類似）

1. 地形に沿った自然国境よりも、植民地時代の名残である経緯線に基づいた数理的国境が多く見られる。                                      2. アフリカ諸国が経済協力を行うために、独立後に経緯線を基準とした新しい国境線を引き直した。                                      3. ナイル川やニジェール川といった大河川が、国境線の大部分を直線的に形作っている。                                      4. 民族の居住範囲を正確に反映させた結果、偶然にも経緯線と一致する直線的な国境となった。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>カカオ</b>	コートジボワールとガーナは、世界有数のカカオの生産国です。これらの国々では植民地時代に宗主国によってプランテーションが作られ、現在も特定の農産物の輸出に頼るモノカルチャー経済の傾向が見られます。天然ゴムは東南アジアなどが主な産地であり、この文脈には適しません。
問2	<b>答え 1</b> <b>特定の農産物の輸出に依存するモノカルチャー経済であり、天候や国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。</b>	アフリカ諸国に多く見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済をモノカルチャー経済と呼びます。コートジボワールではカカオ豆への依存度が高いため、生産量が天候に左右されたり、世界市場での取引価格が下落したりすると、国家の収入が不安定になるというリスクを抱えています。これに対し、先進工業国のように製品を輸出する構造や、国内ですべてを補う自給自足経済は、現在のコートジボワールの統計的特徴とは異なります。
問3	<b>答え 1</b> <b>自助努力（オーナーシップ）</b>	日本はアフリカ支援において、相手国が自立した経済発展を遂げることを重視しています。この「自らの手で国を発展させる」という姿勢を尊重する考え方を「自助努力（オーナーシップ）」と呼びます。TICADでは、この考え方と国際社会による「連帯（パートナーシップ）」が両輪として掲げられ、一方的な支援ではない協力体制が目指されています。
問4	<b>答え 1</b> <b>2020年時点の栄養不足人口は約2億5520万人であり、総人口に占める割合は約18パーセントと、アジアや中南米よりも高い水準にある。</b>	アフリカ州では爆発的な人口増加が続いており、2030年には17億人を超えることが予測されています。一方で、経済発展の遅れや気候変動による干ばつ、紛争などの影響から食料供給が不安定な地域が多く、総人口に対する栄養不足人口の割合は約18パーセント（2020年時点）と、他の地域と比較して非常に高いのが現状です。
問5	<b>答え 1</b> <b>モノカルチャー経済</b>	アフリカの国々の中には、植民地時代の歴史的背景などから、特定の資源や農作物の輸出に過度に依存している国が多く見られます。輸出の中心が資源であるため、国際市場における価格変動の影響を強く受けやすく、経済的に不安定になりやすいという課題を抱えています。
問6	<b>答え 1</b> <b>人口増加に伴う過放牧や、燃料にするための樹木の過度な伐採が行われたため。</b>	急激な人口増加により、家畜を飼いすぎる「過放牧」や、生活用の薪を得るための「過度な伐採」、さらには休耕期間を短縮した「無理な耕作」が繰り返されました。これらが土地の再生能力を超えたため、植生が失われ砂漠化が加速しています。
問7	<b>答え 1</b> <b>1950年代にスエズ運河の国有化を宣言し、近年は石油や天然ガスの産出が経済を支えている。</b>	エジプトは19世紀までオスマン帝国の支配下にありましたが、その後イギリスの保護国となりました。1922年に独立した後、1956年にはナセル大統領がスエズ運河の国有化を宣言し、これが第二次中東戦争のきっかけともなりました。地理的には北アフリカに位置し、伝統的な農業に加え、近年は石油や天然ガスといったエネルギー資源の輸出が国の経済成長を牽引しています。他の選択肢は、それぞれベトナム、インド、メキシコの特徴を示したものです。
問8	<b>答え 1</b> <b>地形に沿った自然国境よりも、植民地時代の名残である経緯線に基づいた数理的国境が多く見られる</b>	山脈や河川などの地形を利用した国境を自然国境と呼ぶのに対し、緯線や経線を利用した幾何学的な国境を数理的国境と呼びます。アフリカ州で見られる直線的な国境は、ヨーロッパ諸国による植民地支配の結果として引かれた数理的国境の代表例です。当時の支配層が、現地の詳細な地理や人間社会の繋がりを考慮せず、机上の地図の上で境界を定めたという歴史的経緯が反映されています。